

広がっています。合併によらない自治体をめざす動き

良子 市町村合併の協議会に参加している市町村が半数を突破したという新聞記事がでていたけどー。

太郎 3,217 市町村のうちの半数 1,618 市町村が法定・任意合併協議会に入っているという記事だね。逆にいうと 1,600 ほどの市町村は合併協議会には入っていないことになる。国の目標は、1,000 市町村にまとめることだったが、合併協議に参加している市町村が全部合併しても 2,000 ほどで目標には程遠い。90%以上が合併協議会には入っているという佐賀県がむしろ例外だ。

良子 そうだと「合併しなければ交付税をへらすぞ」などということは出来なくなるね。「合併しなければ大変だ」と大騒ぎすることはないね。

合併の強制をするな！

百武町長、中溝議長も参加して町村自治確立総決起大会

太郎 2月25日には東京の日本武道館で全国町村会(全国の町村長の団体)と全国議長会(町村議会議長の団体)が合同で「町村自治確立総決起大会」を開いた。町村長、議長など6,000人ほどが集まった。もちろん、百武町長、中溝議長も参加した。そして、「強制合併反対、地方交付税制度堅持」を盛りこんだ決議を採択したよ。

良子 決議文にはいいこと書いとるね。役場の人も町会議員さんもぜひ、こんな気持ちでやって欲しいね。

町村自治確立総決起大会の決議

過疎化、少子高齢化が進行する中で、我々町村は、食料の供給、水資源の涵養(かんよう)など重要な国家的な役割をはたすとともに、景気の低迷による税収の落ちこみや借入金

の増大など厳しい財政状況下にあっても、住民福祉の向上、地域社会の発展に懸命の努力を重ねてきている。

このような町村の実態を直視し、困難な環境の中でも、創意と工夫によって独立した自治体として、引き続き重責をになおうとしている町村については、その自主性を尊重し、町村自治確立に向けた行財政支援措置を講じるべきである。

国土の多様性を考え、農山村の多面的価値を守るためにも多様な自治体が共存しあえる地方自治制度を構築すべきであり、そのことが地域の自主性を尊重して個性豊かな地域社会の実現を目指すとする地方分権推進の理念にも合致するものとする。

よって、下記事項について国に強く要請する。

記

1. 合併の強制や、人口が一定規模に満たない町村の権限を制限・縮小したり、他の自治体へ編入することは、絶対に行わないこと。
2. 税源移譲等により、町村税財源の充実確保を図るとともに、地方交付税の持つ財政調整機能、財源保障機能を絶対堅持し、必要な総額を確保すること。

町村の将来は自分たちで決めよう

長野県栄村で町村長さんたちがフォーラム

太郎 合併の強制に抵抗して、「町村の将来は自分たちで決めよう」という動きが広がっている。2月には長野県栄村で合併によらない自治体づくりを考える「小さくても輝く自治体フォーラム」が開かれた。

良子 栄村というのは、人口2,600人の小さな村だけど、あまり費用をかけない田んぼの「田直し」とか、雑穀を栽培して評判になっている村だね。

太郎 そうだ。フォーラムには全国から46人の町村長さんを

はじめたくさんの自治体関係者が参加した。長野県の田中康男知事は記念講演で「人の顔が見え、集落のきずながあり、地域の人達に運営されるのがこれからの行政だ。自律をめざす自治体、小規模自治体を長野県は援助して行く」といつている。よびかけ人になった4人の町村長さんのあいさつを紹介しよう。よくかみしめるべき言葉だと思う。

良子 太良町を残して、そんな町づくりをしたいね。

「小さくても輝く自治体フォーラム」での発言

群馬県上野村の黒澤丈夫村長(前全国町村会長)

「強制合併は地方自治の本旨に反する。なるべく小さい規模で顔の見える自治体をつくり、団結心を強固にしていくことが大切」

福島県矢祭町の根本良一町長

「平成の合併は根拠が薄い。(政権党が)山村で選挙に勝てないから、都市に財源をもっていこうとしているとしか見えない」

福岡県大木町石川隆文前町長

「生ゴミ資源化など循環の町づくりを進めているが、住民参加ができる小さな町でないといけない」

長野県栄村の高橋彦芳村長

「田直しなど村独自の事業は住民が主役になって計画、実施し、経済効果もあげている。合併せずとも輝く村づくりがここにある」

太良町を残そう・自立！

No.5 2003.3.26

発行 明日の太良町を考える会

「合併問題を考える町民の会」の名称をかえました。

連絡先 川上賢二 67-9072

太良町役場があるから、人が住み、働くこともできます

「太良町合併推進町民協議会」の名前で、ピラが配られました。ピラをかこんでの話し合いを中継します。

生活圏の拡大と合併は関係ない

- A 道路が良くなり、自動車が増え、生活圏が広がったから合併しなければならないと書いてあるね。
- B そんなことと合併とは関係ないよ。太良町の温泉プールに他市町の人もいっぱい来ている。太良の人も鹿島の市立図書館を利用している。消防やゴミ処理も広域事務組合でちゃんとやっている。いまのままでなんの不都合もないよ。

ゼネコンや大銀行のために作った借金 合併でさらに増える借金

- C 「国・地方の借金が 693 兆円、合併することによって大きな自治体を形成し、効率的に事業を行う体制が求められている」というのはどうだろ。
- A 693 兆円の借金というけど、本州と四国の間にいっぺんに3本も橋をかける---そんなことのために作った借金じゃないか。地方に借金の尻拭いを押しつけてくるの筋がいた。
- B 「借金で大変だ」といっている国が、合併したところにはゲップが出るくらい借金してもいいとって、借金をふやそうとしている。だから、借金がたくさんあるから合併しなければならないという理屈はウソだとおもうよ。
- C これから財政難になるから、財政効率をよくするために合併しなければならないというのはどうだろうか？

交付税制度がどうなるかは この後の市町村や住民の運動しだい

- B 三つほど問題があると思う。

まず、ピラが書いているように交付税が本当に極端に減るのかどうかということだ。全国町村会などが「交付税制度を堅持せよ」と主張しているが、最終的には、これからの国と地方の綱引き、このあとの選挙の結果で決まってくると思う。

- A 「交付税が減らされるから合併しかない」というのは、はじめから白旗をかかげるようなものだね。
- B 第2に合併したら借金地獄が待っているということだ。最近、唐津市など唐松 1 市9町村、杵島郡6町の財政シュミレーションが発表されたが、合併10 数年後の借金返済は歳出総額の 20%前後という恐るべき数字になっている。
- C 鹿島と合併すると水道料金や国民健康保険税の大幅値上げになる。合併しても、太良町民にはマイナスばかりだ。

地域の暮しと経済に欠かせない町役場

- B 第3に、地方自治・住民自治という大切なものを「財政効率」（住民にとっては負担増とサービス切り捨てのリストラ）とひきかえにしてもいいかということだ。
太良から役場がなくなるということは、住民にとってのよりどころがなくなってしまうということだ。太良で一番大きな勤め先がなくなり、得意先がなくなることが太良の経済に与える影響は深刻だと思う。役場という中心を失った地域はバラバラになり、見捨てられ、過疎化がいつそう進行する---こんなことが各地で起きている。合併を推進する人達の一番の問題はこのことを何も考えていないということだ。
たしかに、自立を続けることは、財政的には厳しいものがある。今までの行政水準も落とさざるを得ないこともあると思う。だけでも、町役場がなくなることによるひどさにくら

べればまだがまんでいいのではないだろうか。

- C 「財政的に厳しくなるから合併しかない」というのは、「寄らば大樹の陰」という考えだ。こんなことじゃ、太良は救われないよ。

合併したら太良の人口減・高齢化は いっそう進むのではないか

- A 人口が減り、高齢化が進むから合併しなければならないというのもおかしいね。
- C 合併したら太良から鹿島へ移転する人が増えて、太良の人口減、高齢化はなおいっそう進むのではないか。
- B だから、絶対に合併してはいけないと思う。それから、ピラでは高齢者が増えるのが悪いみたいな書き方をしているのが気になる。太良では、70 才すぎの人も働いている。それに、太良町の高齢者が年金として貰っているお金は 20 億円をこえる。太良町の経済の大きな柱だ。高齢者が働く場、活躍する場をつくれれば高齢化が進んでもこわがることは何もない。もちろん、医療費を学校にはいるまで無料にするなど子育てを支援することが大事だ。太良町では高齢者、子供、障害者が生き生きしているということが伝われば太良に住みたいという人がふえると思うよ。
- C 「太良町合併推進町民協議会」の人達と「明日の太良町を考える会」の人達で討論会を開いたらどうだろう。
- B いいね。ぜひ、実現したいものだ。

太良町の自立と町づくりの話し合い

とき 4月4日(金) 午後7時半より

ところ 陣の内・牟田さんの事務所

(国道ぞい、馬場タイヤのとなり。建設会社の看板がでています)

(毎月第1金曜日に開いています)